

作成日 2006年9月29日

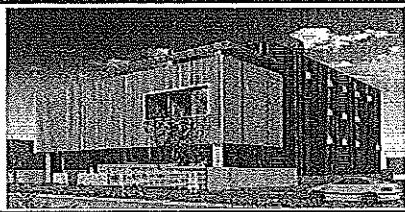
作成者

確認日

検証者

(1) 建物概要

建物名称	山城屋京都工場	敷地面積	1,982 m <sup>2</sup>
建物用途	工場	建築面積	1,039 m <sup>2</sup>
建設地	京都府宇治市楓島町目川21番、22番	延床面積	2,912 m <sup>2</sup>
気候区分	地域区分IV	階数	地上4階
地域・地区	工業地域、法22条地域	構造	S造
竣工年	2009年4月 予定	平均居住人員	20人
		年間使用時間	2,000 時間/年

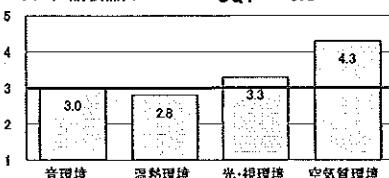


(2) (1) 環境性能評価結果(バーチャート)

Q-1 建築物の環境品質・性能(居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

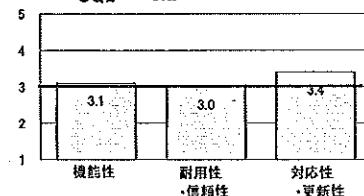
Q-1 室内環境

スコア(評価点): SQ1 = 3.3



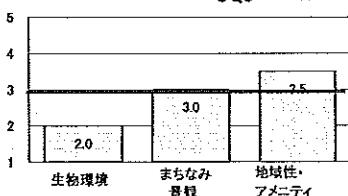
Q-2 サービス性能

スコア(SQ2 = 3.2)



Q-3 室外環境(敷地内)

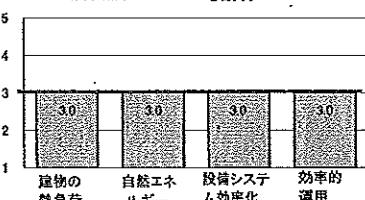
スコア(SQ3 = 2.8)



LR(建築物の環境負荷特性)(環境負荷を低減する性能評価)

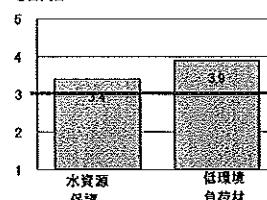
LR-1 エネルギー

スコア(評価点): SLR1 = 3.0



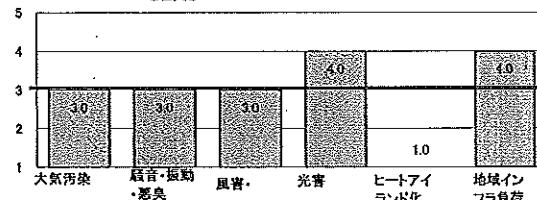
LR-2 資源・マテリアル

スコア(SLR2 = 3.8)



LR-3 敷地外環境

スコア(SLR3 = 2.6)



(2) (2) 環境性能評価結果(バーチャート) (2) (3) 環境性能効率(BEE)

Q-1 室内環境

Q-2 資源・マテリアル

Q-3 室外環境(敷地内)

LR-1 エネルギー

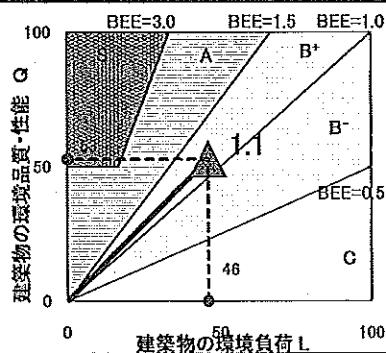
LR-2 資源・マテリアル

LR-3 敷地外環境

BEE =  $\frac{\text{建築物の環境品質・性能 Q}}{\text{建築物の環境負荷 L}}$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{52.7}{46.1} = 1.1$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

(3) (1) 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり指標	指標
MJ/年m <sup>2</sup>	MJ/人時	MJ/年m <sup>2</sup>	%
運用エネルギー消費量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	kg-CO <sub>2</sub> /人時	
運用CO <sub>2</sub> 排出量	m <sup>3</sup> /年m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup> /人時	
水消費量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	kg-CO <sub>2</sub> /人時	
LCCO <sub>2</sub> 排出量	V/年m <sup>2</sup>	V/人時	
LC廃棄物量	t/年m <sup>2</sup>	t/人時	
LC資源消費量	t/年m <sup>2</sup>	t/人時	

(3) (2) ライフサイクルセイバの評価

設計段階

建設段階



貢献  
指標

Q: Quality

L: Load

LR: Load Reduction

SQ: Score of Q category

SLR: Score of LR category

BEE: Building Environmental Efficiency

注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に該当する評価は対象外。

注2: Qは、環境品質・性能(Q-1, Q-2, Q-3)のスコアSQ(0-1, 0-2, 0-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。

LRは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1, LR-2, LR-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。

注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。